

小 袋 山

府本小学校だより

第14号 (R4.12.1)

「挑戦！えがおで一步前進」

文責：校長 右田尚久

タブレットを活用した授業

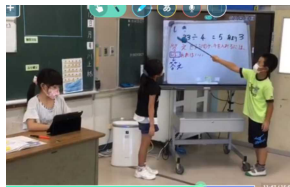
昨年度から子供たち一人一台の端末タブレットを荒尾市から配付され、授業や家庭学習で活用しています。子供たちも2年目ともなるとスムーズに調べ学習をしたり写真を撮ったり、ロイロノートで先生に自分の考えを送ったりと多岐にわたり使いこなしています。一年生は、まだ半年にも関わらず、外で虫の様子をタブレットに取り込み、その様子や感想を打ち込んで書き表すこともできるようになり、ICT支援員の先生も習得の速さに驚かされていました。他の学年も使用方法は様々で、一日で活用しない日はありません。また、上学年になると毎日持ち帰って次の日の予習をしたり、宿題を家庭から提出したりもしています。このように、このタブレットは、現在の学びに欠かせないアイテムとなっています。活用例を紹介します。



【1年生：自分の考えを電子黒板に送り、自分と他者との比較をしています。】



【2年生：三角形と四角形の仲間分けをタブレットで行っています。】



【3年生：グループで話し合った考えを電子黒板にミラーリングし説明します。】



【4年生：キーボードを使って文字を速く打つ練習をしたり、eライブラリで練習問題をしています。】



【5年生：インターネットを使って調べたい内容を検索し、学習に活かしています。】



【6年生：家で予習してきた自分の考えを出し合いプレゼンを考えています。】



【はばたき学級：タブレットを使って調べ学習をしたり文字を打ったりすることが大好きです。】



内容は、ほんの一部で、いろいろな教科でいろいろな活用をしています。

本物体験Ⅸ はばたき学級「干し柿作り」

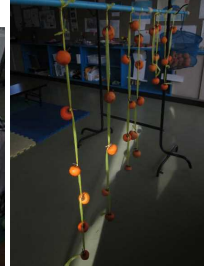
①

②

③

④

⑤



①校庭にある柿（渋柿）を取りました。②橋本和子先生が皮のむき方をしっかり伝授。③真央君も穂果さんに皮むきに挑戦し悪戦苦闘。④アラン先生を交えて、柿と柿をひもで結んでいきました。⑤最後は物干し竿につるして「おいしくなあれ！」とお願い。

年末年始の交通事故防止運動

令和4年12月21日(水)～令和5年1月3日(火)

年末年始は人や車の動きが慣たしくなり、飲酒の機会も増え、交通事故が増えます。

飲酒運転等の
危険運転防止

夕暮れ時と夜間の
交通事故防止

高齢者の
交通事故防止

歩行者の安全と
自転車の安全利用
の確保

運転者、歩行者、家庭、職場で声をかけ合い、交通事故ゼロの熊本へ!

交通安全には

- 1 飲酒運転の害。凶悪性、深刻な重大性を認識し、飲酒運転をしないことを厳禁しましょう。
- 2 計画的で余裕のある運転を心がけるとともに、夕暮れ時の前照灯の早期点灯や、夜間の上向き点灯を実践し、歩行者等の早期発見に努めましょう。
- 3 高齢者や子どもの歩行者及び高齢運転者マーク等(身体障がい者・聴覚障がい者・心臓運転マーク等を含む)を表示している車両に対して、思いやりのある運転に努めましょう。特に、横断歩道上の事故を防ぐため、「歩行者優先」を実践しましょう。
(※てま運動:歩行者は横断する意思、運転者は横断させる意思を、手を前に出して合図を送り合って体験し、事故を未然に防ぐ運動)
- 4 シートベルトやチャイルドシートの安全使用を確認してから発進しましょう。
※運転者を含むシートベルトやチャイルドシートの効果と必要性について理解を深め、正しい使用を実践しましょう。
- 5 自転車の右側通行、二人乗り、傘差、スマートフォンを含む携帯電話の使用、無灯火、イヤホン使用運転などの危険性及び自転車専用道であることを認識し、正しい交通ルールマナーを習慣付けましょう。

飲酒運転は
犯罪です!

酒酔い運転

酒酔い運転

酒酔い運転

酒酔い運転

酒酔い運転

酒酔い運転

酒酔い運転

交通事故に注意しましょう

日が暮れるのも早くなりました。自動車を運転する大人はもちろん、子供たちも十分交通事故には気をつけてください。集団下校時には注意しても、一度帰ってから外出する時は、特に気をつけてほしいと思います。

先日、府本地区協議会で駐在所の方から熊本県警が実施している「ピカピカ運動」についてお話がありました。

◎車は明るいうちから点灯する。(午後5時には点灯)

◎自転車も早めにライトをつける。

◎歩行者は安全たすきを外出時は着ける。

◎子供は遊びに行くときもたすきや反射板をつける。

これからもっと夕暮れが早まります。車の点灯は、歩行者に知らせる意味もあるため、明るくても午後5時には付けるように言われました。

12月21日から1月3日は年末年始の交通事故防止運動期間です。

熊本県文集「ゆめ」入賞者紹介

国語の授業等で書いた作文を応募し、熊本県で入賞した子供たちを紹介します。

- 1年生 入選 たばた とうき君「ぼくとそらまめくん」(読書感想文)
としみつ ふうた君「おふろだいすき」(読書感想文)
ふじさく のりおみ君「もぐらばすをよんで」(読書感想文)
いわた みはねさん「かいだんのぼり」(生活文)
- 2年生 入選 ふくむら しゅん君「うんどう会」(日常生活文)
- 4年生 特選 高田 竜乃介君「エルマーのぼうけん」を読んで (読書感想文)
前寫 美結さん「ばあばはだいじょうぶ」を読んで (読書感想文)
- 入選 瀬崎 悠君「人権啓発センターで学んだこと」(私たちの学校(郷土))
- 5年生 特選 高田 なつさん「友だちの良いところ大発見」(意見・感想文)

"入賞おめでとうございます! すばらしい"

図工・美術展(絵画・版画)入賞者紹介

★絵画の部 入選: 1年:利光颯太君 4年:前寫美結さん,瀬崎悠さん 5年:井上咲寧さん

★版画の部 入選: 2年:梅原朱優斗君,春野ひまわりさん 3年:小倉由宇君

4年:小倉十和君,日野茜さん 5年:浦本崇彦君

はばたき 1年:塩塚真央君

"入賞おめでとうございます! おみごと"

～朝から図書室が大賑わい～



府本小学校では、3月までに全校児童で図書室の本を12000冊読むことを目標にしています。多くの子供たちが毎朝、図書室に行き、本の貸し借りをしています。図書委員さんも今年から「図書だより」(どんぐりの森)を発行し、学年毎の貸し借りの冊数をグラフ化したり、たくさん本を読んでいる人を紹介したりして工夫を凝らしています。また、図書担当の橋本先生や図書司書の弘先生の楽しくなる図書室環境の工夫やイベントの企画をされ

ています。最近では、何でもインターネットで調べられる時代ですが、本を開いて活字を読むことは、必ず学力向上につながります。荒尾市の助成金により新しい本が入っていますので、これからもたくさん本を読んでほしいです。今は、新しい本の名前を書いたビンゴカード(図書委員会作成)を持ってその本を見つけては借りて印鑑をもらっています。朝から本選びで大賑わいの府本小です。

